

## ごあいさつ

令和3年度、新入生69名をむかえ、全校生徒224名の生徒と31名の教職員で順調なスタートを切ることができました。多くの方々に心より感謝いたします。

本校は今年で創立74年目を迎え、先の東京オリンピック男子マラソン銅メダリスト円谷幸吉さんをはじめ、各界で活躍する数多くの大先輩方を輩出している伝統校であります。これまでの先輩方は、本校の校歌にも謳われている「秀麗」を校訓に、充実した中学校生活を送られてきましたが、今後も本校の子どもたちが「秀麗な一中生」となりうるべく、本校の教育活動の充実・発展のために、地域・保護者の皆様、関係機関のご支援をいただきながら、学校教育の推進を図ってまいります。

今年度から新しい学習指導要領が完全実施されますが、これからの社会が、どんなに変化して予測困難な時代になっても、子ども達が、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現することができるよう「生きる力」を身につけることが学校教育に求められています。本校でも「**新しい時代を担う豊かな心と知性を身につけた実践力のある生徒の育成**」を教育目標に掲げ、具体的に「**自ら学び考える生徒**」「**心豊かな生徒**」「**健康で実践力のある生徒**」を目指す生徒像としています。

本校の教育目標の具現にむけて、教職員が同僚性を発揮しながら「チーム一中」として一丸となって取り組んでいきたいと考えております。その結果「**子ども達の笑顔と、教職員の自信が満ちあふれ、保護者から信頼され、地域から愛される学校**」となるよう努力してまいります。そのためには、本校の教育活動を積極的にお知らせするとともに、保護者や地域の方々、さらには関係機関等と連携を深める「**地域とともにある学校づくり**」を推進してまいりたいと思います。

現在、新型コロナウイルスの感染拡大により、コロナ禍の生活が求められています。また2月の福島県沖地震で体育館が使えなくなるなど、本校は何かと厳しい状況に置かれています。そうした中、子ども達の安全・安心を第一に考えながら、可能な限り通常に近い形で教育活動を行っていかねばなりません。そうした困難を、生徒・教職員・保護者・地域の方々と一丸となって乗り越えることによって、豊かな人間性や社会性を身につけたたくましい生徒の育成が図られるものと確信しております。

東日本大震災及び原発事故から10年が経過し、これからの福島や須賀川の未来の担い手として、郷土を愛するとともに、社会に貢献する人材を育成することが、私たち教育に携わる者に課せられている使命でもあります。そのような人材に、一中の子どもたちを育ていけるよう、第一中学校教職員一同が力を合わせ努力していきますので、今後ともご理解とご協力をお願いします。

なお、日々の本校の教育活動をホームページや学校だより等を通してお知らせします。お気づきの点がありましたらお知らせください。

令和3年4月

須賀川市立第一中学校長 八木沼孝夫